

丸山作樂 （考） 政治家、歌人。天保十一年十月二日江戸生れ。明治二十一年八月十九日歿（二八四の一六九）。講止路、宇安宅、幼名勇太郎、麻呂吉、善賢、正虎、丸山左久良。號東華、清水店の主人、源の朝臣作樂、源朝臣作樂、源作樂、盤屋之屋、神習處、素行等。平田鐵胤の學友。明治二年外務大臣として樺太とロシア人と折衝、對外硬派となり、征韓論の同調。五年内亂各疑ぐ終身刑と、十一年恩赦出獄。翌年忠愛社を興じて『明治日報』發刊。十五年と憲法政黨の組織、二十年外遊、二十二年元老院議員、のち貴族院議員。

文獻、丸山正彦著『丸山作樂傳』（明治二十一年十一月二十一日丸山正彦刊）等。